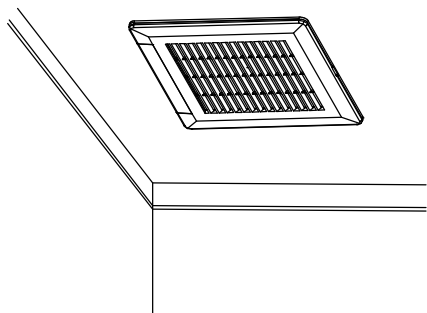


発泡フィルターボックス (24HFB-PSB-C)

製品について



● グリル

外気取り入れ部分にある、防虫ネット
エアフィルターのメンテナンスを行います。

⚠ 注意

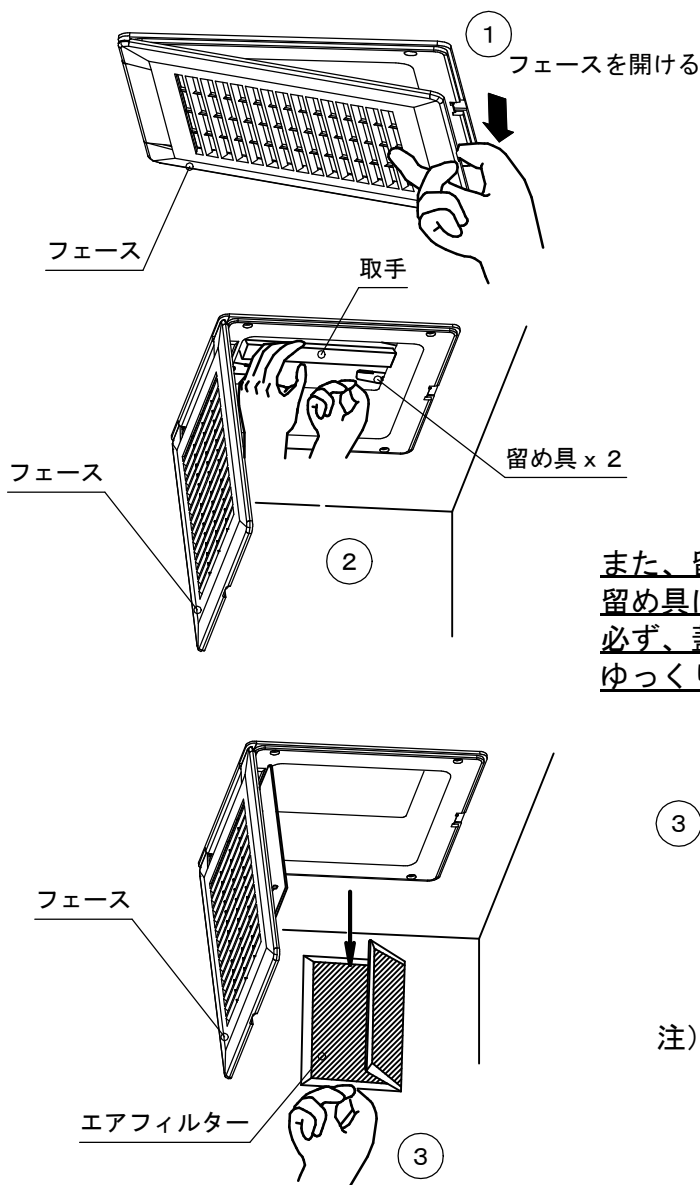


指示に従い
必ず行う

- お手入れの際は、必ず手袋や軍手などを着用し、手を保護してください。
手を保護しないと、けがをする原因となります。
- フィルターは定期的に清掃・交換を行ってください。
多量のゴミやホコリが付着したままと、性能低下の原因となります。
- お手入れの際は、足元に注意し、安定した台を使用してください。
滑りやすいスリッパを履いていたり、不安定な台に乗っての作業は、転倒や落下によるけがや破損の原因となります。

お手入れ方法

【エアフィルターの清掃方法】



① 換気ユニットの電源を切り、
グリルのフェースを開けて下さい。

② 内部のボックス本体の蓋を奥に押し
込みながら、留め具を2箇所外します。
※反対側は引掛け構造になってます。

注) 蓋は留め具を外すと本体から外れます。
蓋を落下させない様に、
必ず両手で作業して下さい。

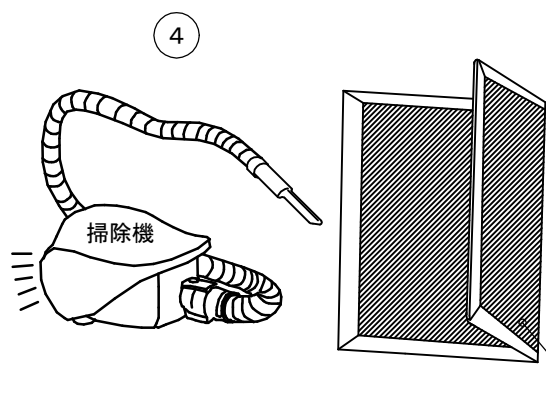
また、留め具を回す際は、無理に回さないで下さい。
留め具による、蓋の削れ、損傷の原因となります。
必ず、蓋の留め具部分を奥に押さえ付けて、
ゆっくりと留め具を回して下さい。

③ エアフィルターをボックス内部より
取り外して下さい。

真っ直ぐに手前に引き出して下さい。

注) エアフィルターを取り外す際、
真下に立たない様にして下さい。
フィルターに付いたゴミ・ほこりが
落ちて来る事が有ります。

お手入れ方法

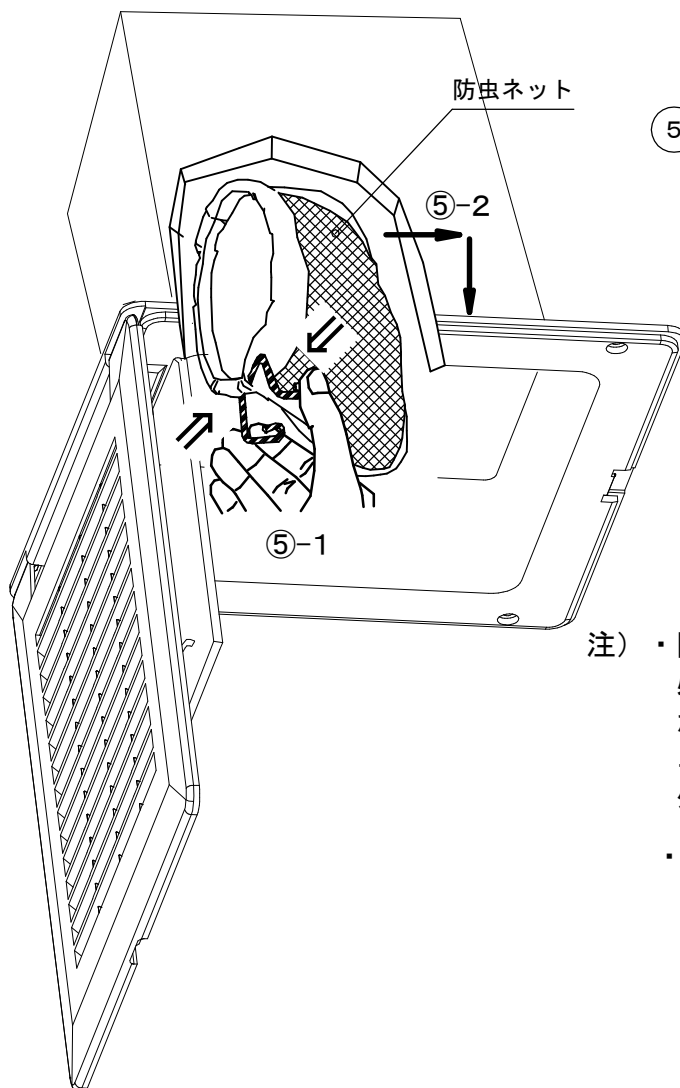


- ④ 掃除機でエアフィルターのホコリを吸い取って清掃して下さい。

※フィルターの汚れがひどい場合は、中性洗剤を入れた水またはぬるま湯でかるく押し洗いし、よくすすいで自然乾燥（陰干）して下さい。

注) 熱湯の使用や、もみ洗い、こすり洗いはしないで下さい。

【防虫ネットの清掃方法】



- ⑤ 防虫ネットをボックス内部より外して下さい。
最初に、リングのツマミ部を内側に向かって絞り、その後、後ろに引いて外して下さい。

注) ・防虫ネットを外す際は、必ず、エアフィルターを先に取り外してから行って下さい。
エアフィルターを付けたままで外すと、変形し壊れる原因となります。

・夏場などの虫が多い時期には、虫がまだ生きている場合があります。

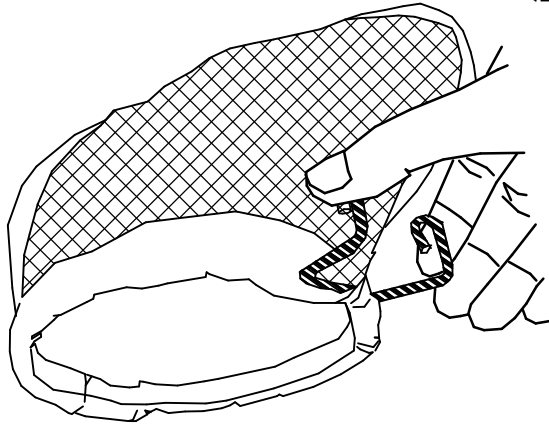
お手入れ方法

- ⑥ 防虫ネットにたまったゴミ・虫を
ゴミ箱に捨ててください。

注) ・中身のゴミ・虫だけを捨てて頂き、
防虫ネット自体は捨てないで下さい。

・夏場などの虫が多い時期には、
捕獲した虫が生きている場合があります。

・防虫ネットは、外気を取り入れる経路に
ある為、殺虫剤のご使用は控えて下さい。

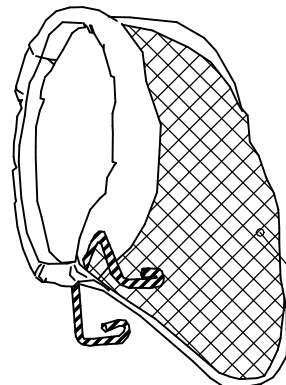
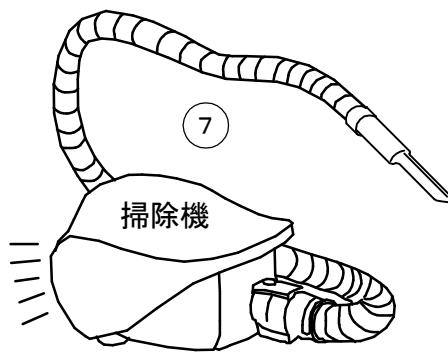


⑥



- ⑦ 掃除機で防虫ネットの
ゴミ・虫を吸い取って清掃してください。

※防虫ネットの汚れがひどい場合は、
中性洗剤を入れた水またはぬるま湯で
押し洗いし、よくすすいで自然乾燥
(陰干) して下さい。



防虫ネット

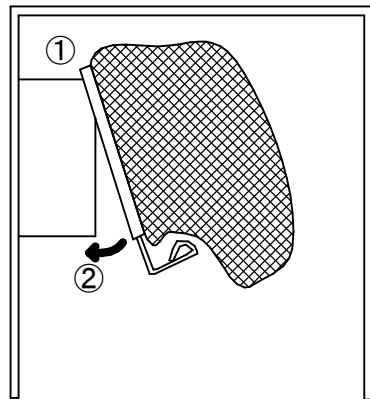
お手入れ方法

【防虫ネット・エアフィルターの取り付け】

- ⑧ 必ず、「防虫ネット」 ⇒ 「エアフィルター」 の順に、外した手順をさかのぼり、お取付け下さい。

なお、防虫ネット・エアフィルター共に、完全に乾いている事を確認してから取り付けて下さい。

注) 防虫ネットの取付けで、リングのツマミ部を絞って短管に取付けますが、その際、取付け部分の奥側を最初に引っ掛けて取付けると、簡単に装着できます。



※防虫ネット、エアフィルターのご注文は
092-947-6158 (コールセンター) までご連絡下さい。

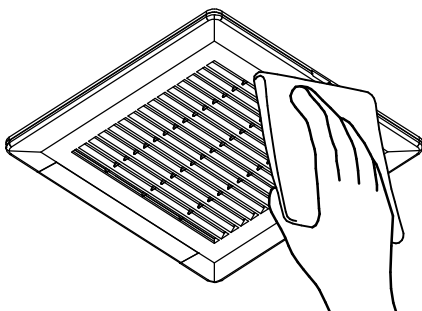
【本体蓋の取り付け】

- ⑨ 蓋を本体の引掛け部に取り付け、蓋をしっかりと閉めた状態で、留め具を蓋表面の各凸部に当たるまで回して固定して下さい。(2箇所)

(重要) 留め具を回す際に、無理に回さないで下さい。
留め具による、蓋の削れ、損傷の原因となります。
必ず、蓋の留め具部分を奥に押さえ付けて、
ゆっくりと留め具を回して下さい。

- ⑩ フェースを閉じてください。
以上で作業は完了です。

【グリルの清掃方法】



- 中性洗剤を入れた水またはぬるま湯に浸した布を固くしぼり、汚れを拭き取って下さい。

注) 有機溶剤、アルコール、磨き粉等を使用すると、グリルを傷めます。